

○ICT活用で確かな学力をつけよう（実践報告）

- 1 **学年・教科** 3年・音楽
- 2 **単元名** 「ふしのとくちょうをかんとろう」
- 3 **実践者（所属）** 川村 昌弘（末長小）
- 4 **活動を始める前に**

(1) 準備するもの

- DVDプレーヤー・液晶プロジェクター・スクリーン
- 「サウンドオブミュージック」のDVDソフト

(2) ICT機器やメディアの活用のねらい

- 「サウンドオブミュージック」のDVDを視聴することにより旋律の特徴を生かして、楽器の演奏の仕方を工夫することができるようにする。

- 5 **指導計画** (10時間扱い) 10/10

時	児童の活動	指導上の留意点
9 / 10	● 曲の感じをつかむ。	○ 「エーデルワイス」の滑らかな旋律の特徴を感じ取らせる。
10 / 10	● 運指や音色に気を付けて、リコーダーを演奏する。	○ 低音部（「ファ」と「ミ」）のタンギングの仕方を押さえる。
10 / 10	● 旋律の美しさを味わいながら、歌詞の情景を想像してリコーダーを演奏する。 (本時)	○ DVDを視聴して歌詞の情景を想像しやすくしてリコーダーを演奏させる。

6 活動の流れ

時間	学習内容・指導上の留意点	児童の活動（利用メディア）
10 / 10	① タンギングの復習をする。 ② 「サウンドオブミュージック」の「エーデルワイス」を歌うシーンを視聴させる。 ③ 歌い終えたシーンの静止画を見せながら演奏させる。	○ 実際に「エーデルワイス」を歌っているシーンを視聴することにより、滑らかな旋律の特徴を感じ取る。 (DVDプレーヤー・ソフト) ○ 静止画を見ながら演奏することにより歌詞の情景を想像する。

7 取り組み後の子ども達の変容や成果

- 実際に歌っている人の姿を見ながら演奏することができるので、児童が「エーデルワイス」の旋律の特徴や歌詞の情景を想像しやすかった。
- 映像を見せる前と見せた後での児童の演奏は滑らかな旋律を意識したものになった。

8 応用できます！

- 他の教材曲の旋律の特徴をとらえさせたり、歌詞の情景を想像させたりするのに有効です。